



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟
編集・発行人 柱本修
東京都文京区後楽1-7-12
〒112-0004 林友ビル6階
電話 03(3818)2906
FAX 03(3818)2907
毎月1回1日発行
定価・年3,000円
(会員は会費に含まれています。)

■全市連第69回定期総会・東京大会を開催

当連盟は5月20日(月)、第69回定期総会を東京都江東区のホテルイースト21東京で開催した。会員の出席は、代理出席、委任状等を含めて148名。来賓として林野庁小坂善太郎次長、日本林業協会島田泰助会長、全国木材組合連合会田口護常務理事、日本住宅・木材技術センター古久保英嗣理事長、日本木材総合情報センター篠田幸昌理事長ほか多くの方々にご出席頂いた。大会では全市連会長功労者表彰状の贈呈のほか令和5年度の事業報告、同決算が決議された。役員任期満了に伴い新役員を選任を行い、守屋会長が再任された。次期定期総会は来年大阪で開催することを決定し、大会宣言を採択した。

【開会宣言・開会の挨拶】

市川英治副会長(関東支部長、東京木材市場(株))が、昨年の総会以降の会員関係物故者への黙祷の後、定期総会の開会を宣言した。

守屋会長は開会挨拶で出席会員及び来賓への謝意、東京市場協会の協力への謝意、表彰者への祝辞を述べ「円安が経済に影響を及ぼしているが為替差益もあ



守屋会長挨拶

り、今後どのように安定していくのか注視している。円安の関連では2×4材を国産で作る動きが加速している。5m以上の長さの材を供給するには山元段階でいろいろ課題がある。来年4月に施行される改正建築基準法において4号特例が見直されるが、地震災害を考えるとやらざるを得ないと考えている。これに対応するためJASについての勉強も必要になる。

本日は東京大学名誉教授の稲山先生に講演をお願いしているので、木材市場の先にある工務店や建設会社への木材供給を頭に描きながらお話を聞いて意見交換していただきたい。花粉症対策の関連では花粉の少ないスギは劣性遺伝子なので



会長賞表彰者

苗木を育てるのが難しいと聞いた。このような苗木の生産・供給を確保するにはしっかりとした植林計画が必要とされている。政府の支援により非住宅に木材が使われるようになってきた。これに对应して木材を供給していく上での課題も出てきている。今年度も皆さんと力を合わせて木材の安定供給に努め、木造の建築物を増やして行きたいと考えているのでよろしく願います。」等と述べた。

【来賓祝辞】

○林野庁小坂次長から、第69回定期総会開催へ祝辞、表彰者への祝辞に続き「我が国では、戦後先人の手で営々と植えてられた人工林資源の多くが本格的な利用期を迎えている。この森林を伐って、使って、植えて、育てる森林資源の循環を実現することによりカーボンニュートラルに貢献できる。ウッドショックがありその後は円安が進行するなど輸入材が安定的に入ってくるとは限

らない状況にある。川上から川下が一体となって日本の森林資源を持続的に利用できるようにすることが重要。このために林野庁では森林林業基本計画に基づき「グリーン成長」という総合的な対策を進めている。これは林業・木材産業を成長させながら温暖化対策に貢献しようというもの。この取組を進めるには木材の安定供給のためのサプライチェーン構築が必要。需要面では非住宅への木材利用を進めることが重要であり、JASや設計の課題を解決しなければならぬ。木材市場の皆様は木材流通の要として、川上、川中、川下間の効率的で安定的な流通を築く上で不可欠な存在。皆様の今後のご活躍を期待している。」等のご挨拶をいただいた。



林野庁小坂次長挨拶

○日本林業協会島田会長からは、第69回定期総会開催へ祝辞、表彰者への祝辞に続いて「最近、地球温暖化問題や地震などの自然災害に対する国土強靱化への役割から国民の森林・林業に対する期待や関心が高まっている。木材の利用拡大に關しては、「都市(まち)の木造化推進法」に基づく国を挙げての国産木材利用の取組みが加速化しており、我々林業界とし

ては木材を安定供給してこの期待に応えることが求められている。しかしながら国内林業は、森林所有者の経営意欲が低下し再造林率が3割と言われる状況となっており、森林の持続性は避けて通れない課題である。

このような中、今後は関係業界だけでなく国民の皆様、特に需要者の協力を得ながら日本の林業が今の状況から抜け出せるような取組を進めることが必要。この考えのもと昨年、林業・木材団体で共同行動宣言を発出した。ここで挙げた取組を進めるにあたり木材市場の価格形成や需給コーディネート機能が一層重要になると考えている。全市連の皆様はこうした流れを踏まえながら、今後ともSDGsや温暖化防止等に寄与する木材利用拡大や品質の確かな木材製品の安定供給体制の整備に取組まれ、日本の林業を支えるための大きな役割を果たしていただきたい。」等のご挨拶を頂いた。



日本林業協会島田会長挨拶

【議事】

議事は鈴木善一期副会長・東海支部長(株)東海木材相互市場)を議長にして進行。

第1号議案 令和5年度事業報告及び収

支決算承認の件

令和5年度は、木材利用促進に向けて、木材アドバイザー養成講習会を東京と大阪にて開催したほか、各種の普及活動を実施した。国産材の需要拡大、安定供給体制整備に向けて、全国優良木材展示会、国産材地方展示即売会、国産材需要拡大製材品特別展示大会、国の補助事業である需給情報連絡協議会等に取り組んだ。合法証明木材及び木質バイオマス供給事業者の認定を行った。木材需給動向調査「原木部会」と「製品部会」を実施した。林業・木材関係団体とともに税制改正(軽油引取税免除の延長等)等の要望を行った。建築基準法改正、クリーンウッド法改正等について会員への情報提供等を行った。福祉共済事業を実施した。

令和4年度決算は、経常収益計29、267千円余、経常費用計28、179千円余となり、当期経常増減額は1、088千円余の減となった。

定款第22条の規定に基づき、萩原宏監事より決算等の内容は適正であるとの監査報告を行い承認された。

第2号議案 令和6年度事業計画及び収支予算報告の件

事業計画及び収支予算は、3月の理事会で決議済みであり、その概要を報告。

第3号議案 令和6年度会費割当ての件

令和6年度会費割当てが承認された。

第4号議案 役員改選の件

役員任期満了に伴い新たに理事・監事が選任され、正副会長・支部長等が選任された。守屋会長が再任され、新たに就任した副会長、支部長は次の通り。副会長・近畿支部長に菅生康清氏(桜井木材

(協)理事長)、副会長・四国支部長に二宮政文氏(大木坑木(有)宇和島出張所所長)、北陸支部長に齋藤豊美氏(福井県木材市売(協)理事長)、中国支部長に岡本剛氏(株)岡山木材相互市場社長)が就任した。(役員名簿別掲)

第5号議案 次回定期総会開催地の決定

来年大阪で開催することが承認された。

大会宣言の決議

安部雄祐 奥羽支部長(株)山形城南木材市場)より、以下の大会宣言案を提案し、満場一致で採択された。

私たち全市連会員は、本日ここに第69回定期総会・東京大会を開催した。

我が国の人工林資源が本格的な利用期を迎えるなか、皆伐・再造林の推進、担い手の育成、国産材の安定供給体制の整備、木材利用の拡大が重要課題となっている。また、SDGsや脱炭素社会の実現に向けて、林業・木材産業への期待が高まっている。

一方、我が国経済の先行きや木材需給を取り巻く情勢は、世界経済の不確実性の高まり、急激な円安、諸物価の高騰など、依然として不透明な状況が続いている。

木材流通において大きな役割を果たしている全市連会員は、経験と実績を活かし、関係団体と連携して需給の変化に柔軟に対応できる安定供給体制づくりに取り組む必要がある。

このような認識の下、政府に対し、山元に利益を還元できるよう生産・加工・流通対策並びに皆伐・再造林対策等の充実・強化や木材利用拡大対策、消費回復

に向けた物価対策を強く要請するとともに、自ら、次の事項に積極的に取り組むものとする。

- 大震災・台風等自然災害からの復興・再生に向け、地域材の利用拡大等に取り組もう。
- 山元に利益を還元できるサプライチェーンの構築等を通じて、木材の安定供給と資源の循環利用を推進し、海外情勢の影響を受けにくい木材の需給構造を構築しよう。
- 林業・木材産業の成長産業化、SDGsの達成、カーボンニュートラル実現に貢献しよう。
- 都市等における「第2の森林」づくり、木の良さが伝わる木造化や内装木質化に取り組もう。
- クリーンウッド法の下、合法証明木材及び木質バイオマス証明についての信頼性の維持・向上に取り組もう。
- JAS製材品のPR、需要拡大及び供給体制整備等に取り組もう。
- 川上・川下と連携して、木の良さを広める人材養成に取り組もう。

【閉会の言葉】

樋口哲也副会長(四国支部長、(株)大洋木材市場)の「地域の木材流通の要としての役割を果たしてまいりましょう。」との挨拶により閉会した。

令和5年度全市連功労者会長賞表彰者

令和5年度の全市連功労者会長賞表彰者は以下の通り。(敬称略)

- 市場関係(36名)
- 市場関係(有)福島原木センター)、神

永健一(株)茨城木材相互市場、鶴澤文人(千葉県木材市場協)、岡田務(株)東京木材相互市場、坂巻博(坂巻木材工業)東京木材相互市場筑波銘木市場所(東京木材相互市場柏木材センター所屬)問屋、山本さとみ(株)東京木材相互市場、渡辺由美子(ナイス(株)宇都宮市場)、榎本晴紀(同 横浜市場)、吉井堅太郎(同 新潟市場、竹内睦美(同 長野市場)、阪口俊(株)東海木材相互市場)、溝口文久(西垣林業(株)三重事業所 美杉木材市場)、山岸新太郎(西垣林業(株)三重事業所 美杉木材市場)、葉廣哲也(真庭木材市売(株)、中島敏則(株)徳島中央木材市場)、名智俊輔(株)久万木材市場、木村恵一(北九州木材(協)北九州木材市場、内山尚稔(肥後木材(株)、西村智(同)、松江信治(同)、加隈啓太(熊本木材(株)、後藤寿一(同)、佐藤妙子(同)、城山正幸(同)、太田亜由美(同 上球磨支店)、倉住尚貴(同)、栗原辰也(同)、竹崎和博(同)、寺田靖代(同)、橋口和典(同)、星原新一郎(同)、山中聖(同)、太田卓朗(同 八代支店)、高澤宗太(同)竹本直也(同)

○問屋関係(1名)  
千田美鈴(材惣木材(株))  
○会長・東北支部長 守屋長光(株)仙台木材市場)  
○副会長 関東北支部長 打越芳男(株)茨城木材相互市場、関東支部長 市川英治(東京木材市場(株)、東海支

部長 鈴木善一朗(株)東海木材相互市場、近畿支部長 菅生康清(桜井木材(協)、四国支部長 二宮政文(大木坑木(有)宇和島出張所)、九州支部長 多田啓(株)アサモク)

○理事(支部長) 奥羽支部長 安部雄祐(株)山形城南木材市場、北陸支部長 齋藤豊美(福井県木材市売(協)、中国支部長 岡本剛(株)岡山木材相互市場)  
○理事 加賀谷雅治(北海道木材市場(協)、成田剛(青森県森林整備事業(株)、工藤茂丸(秋田中央木材市場(協)、鈴木賢二(南東北木材(株)、安藤裕一(株)ミトモク、金子利雄(株)宇都宮総合木材市場、大竹寛司(千葉県木材市場(協)、吉田貞裕(株)吉貞、中村司(東京新宿木材市場(株)、近藤藤嗣(新東京木材商業(協)、西村信洋(株)東京木材相互市場、大島誠(株)東京第一木材市場、飯島義雄(東京中央木材市場(株)、青木豊実(丸字木材市売(株)、杉田理之(ナイス(株)、伊藤元二(株)横浜連合木材、須沼英俊(富山県森林組合連合会、勝野智明(木曾官材市売(協)、吉田芳治(岐阜県銘木(協)、小森淳史(株)東海木材相互市場、西垣貴文(西垣林業(株)、小杉智一郎(株)東海木材市場、中川浩之(中川林業(株)、久保覚(松阪木材(株)、久我洋一(株)関西木材市場、伊藤正雄(株)大阪木材相互市場、名田健吾(神戸木材市売(協)、貝本博幸(奈良県銘木(協)、山下薫(真庭木材市売(株)、豆原義人(株)津山総合木材市場、石谷樹人(石谷林業(株)智頭原木市場、三吉庸善(株)出雲木

材市場、小林方之(株)福山中央木材市場、玉置雅敏(丸幸産業(株)、尾崎徳七(協)高知県木材市場連盟)、樋口哲也(株)太洋木材市場、伊東貴樹(株)伊万里木材市場、田代洋典(株)長崎県北木材市場、今坂幸一(熊本木材(株)、安部省祐(大分県木材(協)連合会、田中昇吾(株)九州木材市場)、外山正志(都城地区製材事業(協)、栗林一郎(関東木材センター協会)、草野洋(二社)全国木材市売買方組合連盟、田口護(一社)全国木材組合連合会、小山富美男(一社)全国素材生産業協同組合連合会)

○専務理事 柱本修(一社)全日本材市場連盟  
○監事 萩原宏(学識経験者)、菊地實(東京木材市場(株))  
【記念講演】  
稲山正弘 東京大学名誉教授(ホルツストラ1級建築士事務所主宰)から「在来工法の延長で経済的かつ魅力的な中大規模木造をつくる」特注金物に頼らず木組みと一般流通材により中大規模木造をつくる」と題したご講演をいただいた。  
ご講演は、低層系中大規模木造の設計上の課題と解決策として、○コストおよび材料調達↓一般流通材とプレカットによる在来工法で、○耐火火の法規制↓1000㎡以下に防火区画し一般木造で、○構造計画と構造計算↓耐力壁形式とし許容応力度計算ソフトで、○設計手間の省力化↓標準仕様にもとづく設計ツールの活用)の4つの項目を中心とした構成。学校校舎、体育館、道の駅、産直販売所、自治体庁舎、企業の社屋等の

建築の実例をもとに、豊富な写真や工法の解説を交えた具体的な説明は大変興味深く、木材市場関係者にとって、一般流通材でここまでできるのか、と大変勇気づけられる内容。参加者は熱心聞き入っていた。



稲山正弘東京大学名誉教授の講演

東京木材市場がさつき祭り開催

東京木材市場(株)(市川英治社長)は5月9日、さつき祭りを開催した。今年のさつき祭りは国土緑化推進機構が実施する「第33回森と花の祭典」みどりの感謝祭」の協賛行事として開催された。「みどりの感謝祭」は、これまで式典と併催行事により構成されていたが、本年は民間団体が行う行事も協賛行事と位置づけ、参加できるようにした。今年の協賛行事には全国で7カ所のイベントが選ばれ、東京木材市場のさつき祭りは東日本で唯一の協賛行事となった。

せりに先立ち国土緑化推進機構の政策企画部主任矢島万理氏による「国土緑化運動の歩み」と題した協賛行事特別講演が行われた。講演では、我が国の森林の荒廃の歴史と戦後の国土緑化の取組、緑の祭典や国民参加の森づくりの活動等が紹介され、講演会には地元の中学校関係者も参加した。



矢島万理氏の講演

### ■全市連近畿支部が大坂・関西万博大屋根リングを見学

全市連近畿支部（支部長菅生康清 桜井木材（協）理事長）は、5月14日、日本国際博覧会（大阪・関西万博）会場のシンボルである大屋根リングを見学した。見学会には菅生近畿支部長、（株）大阪木材相互市場伊藤社長、（株）関西木材市場藤本広報渉外部長らが参加した。会場内は安全管理が厳しく大屋根の間近な見学には至らなかったが、完成す

れば世界最大級の木造建築物（全周約2km、最高部で20mにも及ぶ）となる見出しのその存在感は圧巻で一同万博への期待が高まったという。開幕まで1年を切った5月下旬には大屋根の建設が約9割まで進み試験点灯が行われ、加速度的に工事が進められている。また、大阪万博閉会後のリングの木材の再利用方法について民間事業者や公的団体等から募集が行われ、仮設住宅、駅舎、学生会館、トイレ、高速道料金所ゲート、立体公園、福祉施設、公園と駅をつなぐ歩行者デッキ、自転車道、庁舎の内外装、東日本震災復興を象徴する駅周辺施設、家具、什器備品、ブース、ベンチ、自然公園の木道、ボルダリング壁、学習机等として利用する案やリングの一部を展望台として残す案が提案されている。



近畿支部の大屋根リング見学

### ■国有林野事業の令和6年度主要事業量

令和6年度の国有林野事業の主要事業量が公表された。立木販売量は約916万㎡（令和5年度比102%）、素材販売は約343万㎡（令和5年度比106%）を予定している。花粉症対策については、都道府県が設定した「スギ人工林伐採重点区域」を含む市町村に存する国有林に「重点地区に準じた国有林」（全国で約8万ha）を設定し、伐採・植替えを加速化する。また、立木販売の不調・不落力所において森林整備事業により伐採・植替えの一貫作業を実施するとしている。苗木生産者が花粉の少ない苗木の生産拡大に取組めるよう、需給協定の締結を進めることとしている。

<参考資料> 令和6年度 主要事業量（年度当初） ※需給状況により事業量等は変動することがあります。

区 分	令和5年度	令和6年度	増減率 (%)
人工造林面積(万ha)	0.9	1.0	111%
下刈り面積(万ha)	4.1	3.1	76%
間伐面積(万ha)	10.0	10.0	100%
林道の新設延長(km)	81	52	64%
販売量(万㎡)	立木販売 897 <256>	916	102%
	素材販売 325	343	106%

(注1) 令和5年度予定量と令和6年度予定量。  
(注2) 令和5年度の<>書きは実績（速報値）。  
(注3) 間伐面積は、森林収獲対策として把握する面積。  
(注4) 林道には、林業専用道を含む。  
(注5) 立木販売の販売量は、立木材積であり、官行造林の伐採に係る予定量を含む。  
(注6) 素材販売の販売量は、丸太材積。

### 雑 記 帳

文明の発展による森林伐採の影響については、古代メソポタミアの叙事詩「ギルガメッシュ」が5000年前に警鐘を鳴らしている。ギルガメッシュ王はレバノン杉の森を守ってきた森の神フンババを倒し森林は開発された。しかし後にギルガメッシュ王は森林の破壊が人間を滅ぼす道に通じること気づく。レバノン杉は樹高30メートルにも成長する巨木で強度があり、古代から船や神殿の内装、住宅等に使われた。レバノン、シリア、トルコの地中海沿岸に広く生息したが、文明の発展とともに森林は減少し、ときにはレバノンスギの森林資源を狙った戦争までおきたという。○先日、新宿御苑を歩いてヒマラヤスギの林の中にレバノンスギの大木が混じっていることを知った。両者は非常に近い種でどちらもスギの名がついているがマツ科の樹木である。ヒマラヤスギは日本でも公園などに植えられておりよく見かける。枝が斜め下に伸びて樹形が円錐形になる大きな木である。一方、レバノンスギは非常に珍しく、なかなか見ることではない。両者はよく似ており見分けにくいが見慣れてくるとレバノンスギの方が葉が短く、樹形は枝が横にはって野性的な感じがすることがわかる。○家の近くの公園にもどちらかわからない木があり前から気になっていた。見分けがつくようになったので見に行ってみたらやはりヒマラヤスギだった。後楽園駅から北に少し歩いたところの東京大学小石川植物園にレバノンスギがあることがわかったので見に行こうと思う。